

東京 Ruby 会議 11

スポンサー募集要項

2015 年 12 月 14 日

東京 Ruby 会議 11

実行委員長 笹田耕一

東京 Ruby 会議 11 ご支援のお願い

東京 Ruby 会議 11 では、本カンファレンスを支援して下さるスポンサー企業を募集します。地域 Ruby 会議では初の試みとなる、発表内容をプログラミング技術に特化したカンファレンスです。秋葉原駅前という立地、話題性のある話者、興味深い発表内容ということから、たくさんの優秀な技術者の方のご参加が見込まれます。また、学生、男性以外の割引チケットを販売し、参加者の多様性の向上を目指します。

本カンファレンスでは、スポンサーの皆様が参加者の皆様とコミュニケーションを取りやすくするため、講演ホールからすぐにアクセスできる場所に、ポスターを設置することが可能です。ぜひ、スポンサー企業の皆様には、参加者の皆様と交流を持って頂ければ幸いです。



東京 Ruby 会議 11 開催概要

日時: 2016/05/28 (土) 10:00~19:00 の 1 日開催

場所: 秋葉原コンベンションホール (秋葉原駅前)

<<http://www.akibahall.jp/data/outline.html>>

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13

秋葉原ダイビル 2F

主催: 東京 Ruby 会議 11 実行委員会

後援: 一般社団法人 日本 Ruby の会

料金: 通常価格 6,000 円 (その他プランあり)

講演: シングルトラック、発表の一般公募あり。



基調講演:



古橋 貞之氏 (Treasure Data, Inc. Founder & Software Architect)

分散データベース「PlazmaDB」や分散 Key-Value ストア「Kumofs」など、十年にわたって分散システムの開発に携わる。また、バイナリシリアライズ形式『MessagePack』、ログコレクタ『Fluentd』、並列 ETL『Embulk』などのオープンソースプロジェクトを創始した。

招待講演:

奥一穂氏 (Palmscape, Xiino, Japanize, Q4M, JSX, H2O 開発者)

小崎資広氏 (Linux カーネル/Ruby インタプリタ開発者)

Aaron Patterson 氏 (Ruby on Rails/Ruby インタプリタ開発者)

まつもとゆきひろ氏 (プログラミング言語 Ruby/Stream 開発者)

懇親会: 会場近くで開催予定 (別料金)。

東京 Ruby 会議 11 開催見込み

技術的議論に興味のある 250 名の参加を見込みます。参加費として、通常価格 (6,000 円) 以外に、早期販売価格 (4,000 円) を 100 名分用意します。また、出席者の多様性向上を目指すため、学生の方、および男性以外の方に向けた特別割引価格 (1,000 円) の枠を 100 名分用意する予定です。

関係者を含め、のべ 300 名を見込みます (会場の最大人数 450 名)。

※上記参加費については、スポンサーの応募状況によって増減することがあります。

東京 Ruby 会議 11 スポンサー募集要項

下記の 2 コースからお選び頂けます。

- (1) Ruby スポンサー 50 万円（以上）（4 企業まで）
- (2) Gold スポンサー 20 万円

応募多数の場合は、早めに募集を締め切らせて頂くことがあります。

スポンサーメリット

コース名	特別	通常
(1) ウェブサイトでの企業名とロゴの掲示	大	小
(2) 会期中、開会・閉会でのスポンサー紹介	大	小
(3) 会期中、ランチ休憩前でのスポンサー紹介	大	小
(4) 会期中、休憩時間中のスクリーンでのロゴの表示	大	小
(5) 会期中、講演ホール隣のホワイエでのポスター展示 (*1)	2 枚	1 枚
(6) 会期中、壇上でのスポンサーアピール (*2)	3 分	1 分 (*2)
(7) 会期中、ノベルティ配布 (*3)	可能	可能
(8) 本会の入場無料 (*4)	5 人まで	2 人まで
(9) 会期前・後に参加者へメールにてメッセージ送信可能	280 文字	140 文字
(10) 配付ノベルティへのロゴ添付 (*5)	大	小
(11) その他オプション (*6)	可能	不可

*1: ポスター展示について

会期中、講演ホール隣のホワイエでポスターを展示頂きます。ポスターパネルは、1 枚横幅 90cm です。ポスターの内容に指定はありませんが、会の性質上、御社の面白い技術的な話題を掲載すると参加者へアピール頂けると思います。ポスターパネル 2 枚の前に、長テーブル 1 台を置く予定ですので、ポスターの前にパンフレットなどをおいて頂くといったことが可能です。企業名の掲示などは行ないませんので、御社にてご用意下さい。準備は、AM9 時の準備開始（AM9:30 入場開始）にて配置できる範囲で限らせて頂きます。



*2: スポンサーアピール

基調講演、招待講演の前後、休憩時間の前の時間にご担当者様にアピールを行なって頂きます。特別スポンサーのみ、プロジェクトが利用可能です。時間は、入れ替えの時間などを含めます。応募多数の場合、Gold スポンサーは時間が短くなる場合があります。

***3: ノベルティの配布**

会期中、受付近くの共有テーブル、およびポスター前のテーブルにて、お持ち込み頂くノベルティの配布が可能です。受付での個々の配布は行ないません。余剰をお持ち帰り頂ける範囲でお願いいたします。

***4: 本会の入場無料、通常価格にて販売可能**

本会へ、規定の人数まで無料でご招待します。もし、追加で必要であれば、チケットを通常価格をスポンサー料金に追加頂くことでお渡し可能です。懇親会無料枠はありませんが、懇親会チケットについても同様にスポンサー料金に追加頂くことでお渡し可能です。

***5: 配付ノベルティへのロゴ掲載**

現在、配付ノベルティの作成を検討しており、可能であればスポンサーロゴを掲載する予定です。ただし、手が回らず、作成自体をキャンセルする可能性があります。このメリットについては、確約できないことをご承知おき下さい。

***6: その他オプション**

Ruby スポンサーは、さらに他のオプションを選択可能です。例えば、下記のようなことが可能です。

・前日のスピーカー・関係者ディナー開催可能

セットアップは、すべてスポンサー企業様にて行なって頂きます。主催側から、スピーカーへ連絡を行ないます。

・別会場によるランチセッション開催可能

・別会場によるセミナー開催可能

・別会場によるセミナー開催可能

本会場（2F）からエレベータで上がった 5F 小会議室が確保可能です。会場を抑えるため、開催 3 ヶ月前までにお申し込み下さい。会場費・ランチ費用など実費となります。セットアップは、全てスポンサー企業様にて行なって頂きます。主催側から、プログラムへの掲載、参加者へのアナウンスを行ないます。

これら以外でも出来る範囲で対応させていただきますので、お気軽にご相談下さい。

お申し込み・お問い合わせ先

TODO をご覧の上、お申し込み下さい。個別のお問い合わせも、e-mail にて、お気軽にお問い合わせ下さい。

東京 Ruby 会議 11 開催趣意書

東京 Ruby 会議 11 は、プログラムの実装技術について議論するカンファレンスです。開発したソフトウェアについて、開発者自身にその実装の興味深い部分について紹介して頂きます。参加者は、その知見を共有し、その面白さを味わって頂き、そしてさらなる実装技術の発展に関する議論を展開して貰えればと思います。

Ruby を冠していますが、議論するトピックは Ruby について、少しでも関連があれば良いこととします。ソースコードの出てこない発表や、教育、運用、品質・開発生産性向上などは、スコープ外です。ただし、それらを目的にしたソフトウェアの中身の話ならスコープ内です。

技術的好奇心を改めて呼び起こし、プログラミングの難しさ、そして楽しさを再発見する場を目指します。

東京 Ruby 会議 11 実行委員長 笹田耕一

東京 Ruby 会議 11 実行委員会

実行委員長	笹田耕一（一般財団法人 Ruby アソシエーション、MRI 開発者）
副実行委員長	鳥井雪
会計責任者	笹田耕一
会計協力	一般財団法人 日本 Ruby の会
アドバイザー	高橋征義（一般社団法人日本 Ruby の会 代表理事） 角谷信太郎（一般社団法人日本 Ruby の会 理事）
プログラム協力	古橋 貞之（Treasure Data, Inc.） 奥一穂（株式会社ディー・エヌ・エー） 小崎資広（株式会社 富士通） まつもとゆきひろ（一般財団法人 Ruby アソシエーション）